

社会使徒職の霊性 ―社会のただ中でキリスト者として生きる―

柳川 朋毅（イエズス会社会司牧センター）

（0）はじめに ～自己紹介～

イエズス会日本管区の社会使徒職の信徒協働者として、一信徒、活動家として

（1）キリスト者とはだれか

“パートタイム”のキリスト者ではなく
「罪」の概念とキリスト教信仰
全人類の救いのための「十字架」の意味

（2）社会とは何か

「社会的存在」としての人間
現代カトリック教会・イエズス会と「社会」との関係

（3）社会のただ中でキリスト者として生きる

人間の目的＝『靈操』23「原理と基礎」
行いを伴う信仰：神への愛と隣人愛
いつくしみの特別聖年とSDGs
キリスト者として社会（政治・経済活動を含む）に関わる

（4）社会的霊性を培うための実践例

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ① 十字架上のイエスとの対話 | アニマ・クリスティ |
| ② 識別としてのAMDG | キリストにおいてすべてを新しく見る |
| ③ 意識（良心）の究明 | 教皇庁の15の「病」 |
| ④ 神とのチャンネルを常に開く | 射祷、神への「合図」、自分を捧げる祈り |
| ⑤ 瞑想 | |

最後に… MAGIS